

■ 災害履歴図について

災害履歴図は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途**災害年表**や**調査説明書**に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

桜井の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を引用しました。

○災害履歴(水害)

1. 1982年8月降雨(台風10号)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・大和川流域総合治水対策協議会 『大和川流域浸水実績図』

2. 1995年7月降雨(大雨)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・大和川流域総合治水対策協議会 『大和川流域浸水実績図』

3. 1999年8月降雨(豪雨)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・大和川流域総合治水対策協議会 『大和川流域浸水実績図』

7. 2007年7月降雨(豪雨)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・大和川流域総合治水対策協議会 『大和川流域浸水実績図』

○災害履歴(地震災害)

- ・液状化地点は、若松加寿江(2011)『日本の液状化履歴マップ 745-2008(DVD-ROM 付き)(No:JLM1473)』より転載

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、空中写真、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（土地条件）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平24 情使、第534号）」